

**製品名: ARP ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07155**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MANF
別名	MANF; ARMET; ARP; Mesencephalic astrocyte-derived neurotrophic factor; Arginine-rich protein; Protein ARMET
遺伝子 ID	7873.0
SwissProt ID	P55145
免疫原	抗血清はヒト MANF の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

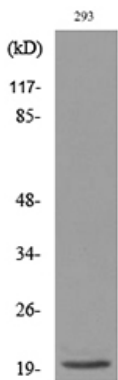
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、小胞体（ER）とゴルジ体に局在し、分泌もされる。この遺伝子の発現低下は、ER ス

トレス誘導性細胞死に対する感受性を高め、細胞増殖を引き起こす。このタンパク質の活性は、ドーパミン作動性ニューロンの生存促進に重要である。N末端アルギニンリッチ領域における多型の存在、特に ATG 開始コドンを AGG に変化させる特異的変異は、様々な固形腫瘍において報告されているが、これらの多型は後に正常組織にも存在することが明らかになり、腫瘍関連とは考えられなくなった。[RefSeq 提供、2014 年 4 月]、折り畳まれていないタンパク質への反応、有機物への反応、タンパク質刺激への反応

## 研究分野

-

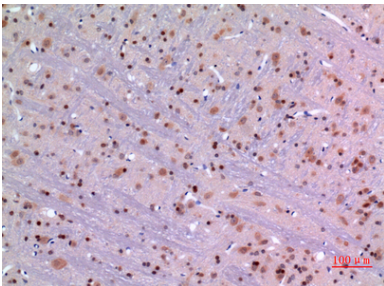
## 画像データ



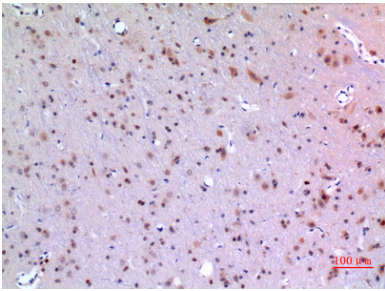
MANF 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



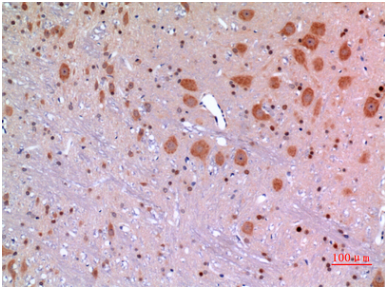
ARP ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



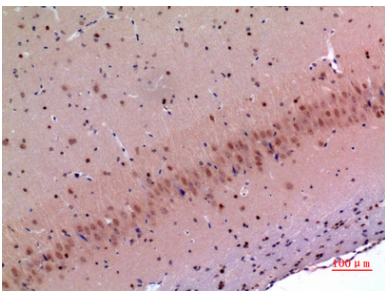
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



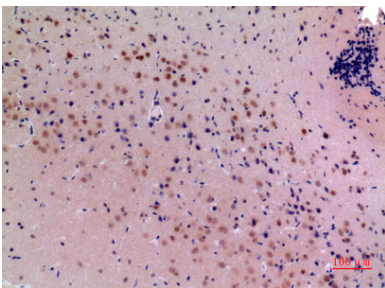
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された